

平成28年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成29年 4 月 4日

研究・研修課題名	災害対策研修会への参加
研究・研修組織名（所属）	MEセンター
研究・研修責任者名（所属）	藤本 欣史
共同研究・研修者名（所属）	川畑 ひとみ

目的及び方法、成果の内容

①目 的

透析治療は生命維持のため、治療を中断することはできない。しかし、ひとたび大規模災害が発生すると透析治療を行うための電気や水といったライフラインが遮断され治療継続が困難となってしまう。昨年10月の鳥取地震の際（出雲地方震度4）、血液浄化部では医師指示のもと、当時の部内マニュアルに従い、患者の安全確保のため早期終了、返血を行ったが、部内マニュアルでは、透析中の災害のみを想定したものでしかないことが明らかになった。

当院は近隣の透析施設と異なり、検査や手術目的の入院患者のみの透析施設であり、独歩避難が困難な患者が多い。かつ、大学病院として避難患者の受け入れも想定される。早急に災害ネットワークなど地域連携を含めたマニュアルを作成する必要があるため研修会へ参加する。

②方 法

日本臨床工学技士会主催「第5回災害対策研修会」へ参加する。

平成29年9月10日（日）1日

ソラシティカンファレンスセンター（東京都千代田区神駿河台 4-6）

③成 果

災害対策研修会を受講し、災害医療、災害対策、透析関連装置への対応を学んだ。11月、施設工事に伴う一般電源の計画停電実施日に、停電による水処理装置の緊急停止を経験し、部内マニュアルを改訂することに活かされた。また災害訓練を行うことで、透析従事者が災害対策に関心を持ち、安全確保意識を高めることにつながる。患者も含めた訓練を行うことで、患者との信頼関係を強めることができ患者満足度の向上にもつながる。